

第2次国分寺市文化振興計画（案）に対するパブリック・コメントの結果について

意見の募集期間：平成28年12月20日（火）から平成29年1月18日（水）まで

※「反映状況」の表記について

- 有：計画に反映する意見
- 無：計画に反映しない意見
- 済：計画案に記載済みの意見

意見をお寄せいただいた方の数
（個人2 団体0）
いただいた意見の件数 6件
計画に反映する意見の件数 0件
計画案に記載済みの意見の件数 0件

No.	項目	いただいた意見の概要	市の考え方	反映状況
1	文化の拠点施設	いづみホールは、市内随一の文化の総合拠点としてはあまりにも収容人数が少なく、近隣市と比較しても小規模である。ホールの公演を鑑賞した人の割合が低いのは企画・広報の問題ではなく、収容人員の低さに起因する部分が多い。文化芸術活動に参加している人の割合や意識が高いにもかかわらず、文化振興に関する意識・実態調査で「市民が身近に芸術にふれあえるまち」を実感する人の割合が1割半ばと他の項目と比較して、極端に低いのは文化芸術の拠点となる総合文化施設（大ホール）がないことが要因であり、計画案のP12「視点」では”文化的な拠点となる場について市民とともに検討を重ねていくことが必要となります。”と記載されているが、具体的に、”文化の拠点として新たに総合文化施設（大ホール）を設置する”旨を明記していただきたい。	施設の新規整備につきましては、公共施設等マネジメントの視点で全庁的な検討を進めており、本計画に施設整備を定める段階ではありません。	無
2	文化の拠点施設	いづみホールだけでは、芸術活動の拠点となるべき施設の数も足りず、施設のキャパシティも絶対的に足りず、現状のままでは市民の芸術活動が市外へと流出していくことを食い止めることはできない。計画案の12ページの「視点」では、いづみホール一か所だけでは規模・機能の面で不十分であり、新たな拠点づくりの必要があることは認めながらも、「検討を重ねる」ことしか計画に盛り込まれていない。検討を重ねるだけでは全く不十分であり、新たな拠点を一刻も早く作らなければならないことを計画の中に盛り込むべきである。	新たな拠点づくりについては、多くの市民の意見、財政負担など公共施設マネジメントの視点に立った総合的な検討の上に決定していく必要があります。したがって、一定の検討時間を要します。	無
3	文化の拠点施設	いづみホールは、Aホールは特に土日は希望が重なり、すでに満杯状態であり、合唱団やオーケストラなど集客力のある市民団体にとっては、いづみホールのキャパシティは小さすぎ、市外に発表の場を求めざるを得ないというのが現状であり、また、いづみホールに訪れる人が市民の2割に満たないのは、宣伝・告知が不十分なのではなく、市民にとって魅力的なイベントを実施して採算を取るには、あまりにも客席数が少ないからである。さらに、国分寺市内の小中学校の連合音楽会等を開催するには、いづみホールは狭すぎ、近隣の市民会館等を借りて行っている状況である。よって、学童・学生から大人まで、すべての世代が集うことのできる新しい文化芸術の拠点として、キャパシティ1200席以上の大ホールを備えた市民文化会館を新設することが不可欠である。	施設の新規整備につきましては、公共施設等マネジメントの視点で全庁的な検討を進めており、本計画に施設整備を定める段階ではありません。	無
4	文化の拠点施設	国分寺市の最大の課題のひとつとして、市庁舎が分散しているために、巨大地震等の大災害が起きた際、市役所が防災拠点としての機能を果たせないことがあげられる。防災拠点となる市役所庁舎を一刻も早く建設することが緊急の課題であり、その建設地は都立図書館の南側の空地が最適であり、市役所庁舎の複合施設として、（上表3のような）市民文化会館を併設すべきである。	新市庁舎建設を進めるうえで、参考とさせていただきます。	無
5	文化の拠点施設	（上表3のような）大ホールを備えた市民文化会館自体に、防災施設としての機能を充実させるべきである。	施設の新規整備につきましては、公共施設等マネジメントの視点で全庁的な検討を進めており、本計画に施設整備を定める段階ではありません。防災機能の充実については、既設施設も含め全体として今後も研究してまいります。	無
6	文化の拠点施設	（上表3のような）市民文化会館を新設するにあたっては、会館の中の特に「大ホール」の運営を赤字にさせず、しっかりと収益を上げるよう以下の工夫を行うべきである。 ① 近隣市の市民文化施設の運営方法を学び、広く市民に行き渡る有効な告知の仕組みや、会員制度などを導入する。 ② 良好なアクセスを確立するために、JR西国分寺駅の東口を新設させる。	施設の新規整備につきましては、公共施設等マネジメントの視点で全庁的な検討を進めており、本計画に施設整備を定める段階ではありません。運営手法等については、既設施設も含め全体として今後も研究してまいります。	無